

保護者の皆様

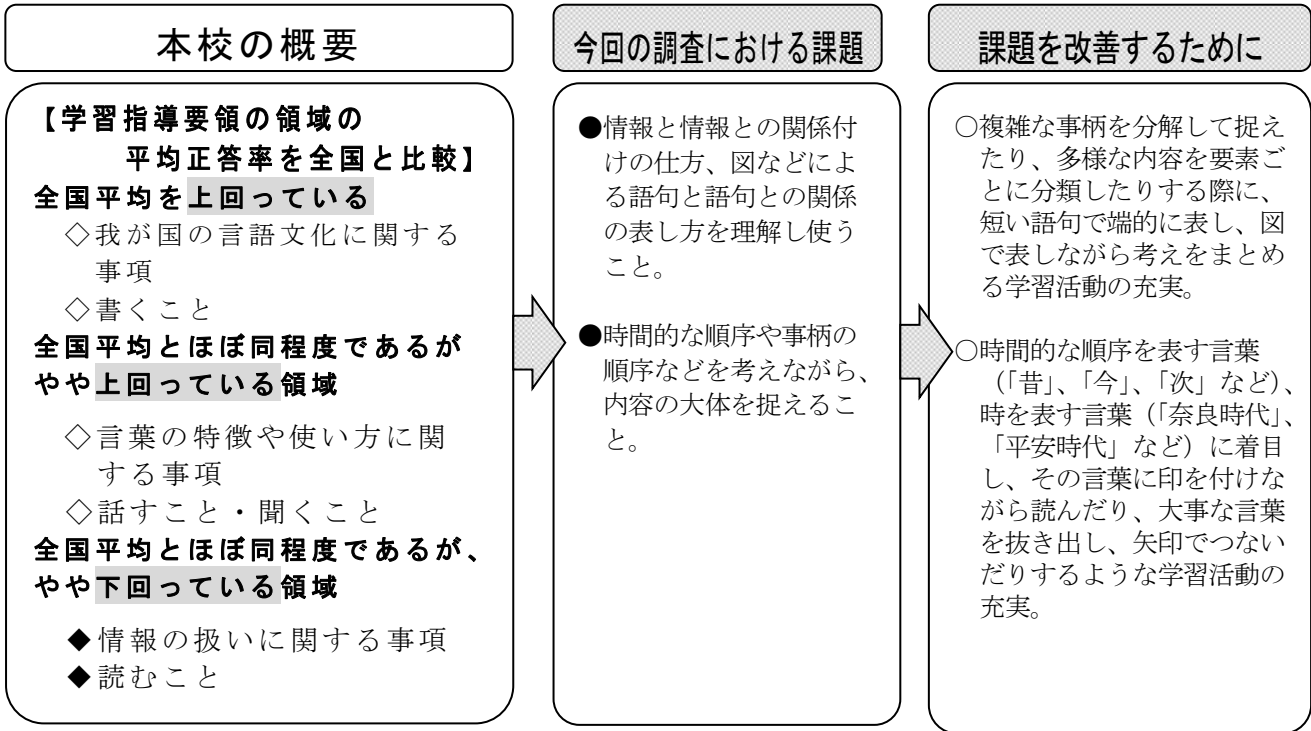
札幌市立北陽小学校
校長 西 宏

令和 7 年度 全国学力・学習状況調査の結果について

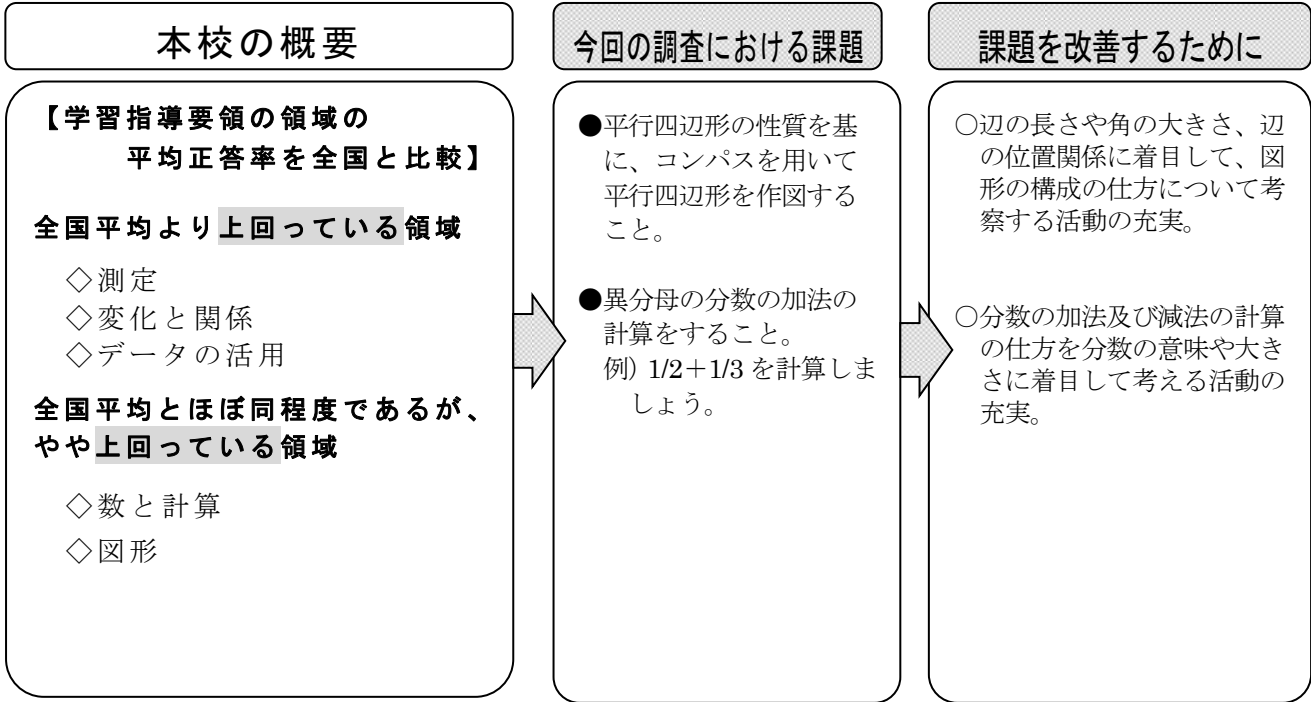
初秋の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、4 月に児童の学力・学習状況の把握分析を目的として 6 年生で実施した「全国学力・学習状況調査」の結果及び分析についてご報告いたします。

【国語】



【算数】



【理科】

本校の概要

【学習指導要領の領域の 平均正答率を全国と比較】

全国平均を上回っている領域

◇「粒子」を柱とする領域

◇「地球」を柱とする領域

全国平均とほぼ同程度であるが やや上回っている領域

◇「生命」を柱とする領域

全国平均とほぼ同程度であるが やや下回っている領域

◆「エネルギー」を柱とする
領域

今回の調査における課題

●乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いていること。

●身の回りの電気を通す物と磁石に引き付けられる物との差異点や共通点について理解すること。

●レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見出し、表現すること。

課題を改善するために

○ものづくりでできた装置を図で表現したり、設定した目的を達成できているかを振り返り、修正したりする学習活動の充実。

○物質の性質に関する理解を深めるために、学習した知識を既習の内容や他の学習や生活と関係付け、習得した知識を整理した学習活動の充実。

○問題を見いだす力を育むために、観察、実験の結果を比較して、差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、一人一人が見いだした問題をノートに書くなどの、思考し表現する活動の充実。

【本校児童の質問紙調査の結果から】

本校6年生児童の調査結果のなかで、『よかったところ（全国平均よりも高かった項目）』『今後の課題（全国平均よりも低かった項目）』をお伝えします。

【よかったところ（全国平均に比べ「肯定的な回答が上回っている」もの）】

- 自分にはよいところがあると思う。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- 分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学びを考え、工夫することができる。
- 自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントなど）ことができる。
- 自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができる。
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる。
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 理科の勉強は得意。
- 理科の勉強は好き。
- 理科の授業の内容はよく分かる。
- 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしている。
- 理科の授業では、問題に対して対して答えがどのようなになるのか、自分で予想（仮説）を考えている。

【今後の課題（全国平均に比べ「肯定的な回答が下回っている」もの）】

- 地域の大人に授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- 国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けている。
- 小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしている。